

Parite Library



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介し、男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひ活用ください。



「自衛隊防災BOOK」
著者：自衛隊
出版社：マガジンハウス

全国各地で大規模災害が頻発している。既に「東京防災」等の対策本が出ているが、そこには書いていない、日常生活におけるリスク管理も含めて、自衛隊独自のノウハウが読みやすい形で凝縮されているのが本書である。



「ふたりは同時に親になる 産後の『ずれ』の処方箋」
著者：狩野さやか
出版社：猿江商會

子育ては、両方が変わることでしか「ふたりで同時に親になる」チャンスはありません。子どものいる生活は、今まで見えなかったことが見え、知らなかったことを知る新しい面白みに満ちた世界。その変化を積極的に受け入れ、二人が快適になるヒントが満載です。



「炎上しない企業情報発信」
著者：治部れんげ
出版社：日本経済新聞出版社

昨今、地方自治体や企業などがSNSを活用していますが、残念なことにつか、炎上するような事例も散見されます。逆に、ディズニー映画などは、一歩進んで、新しい女性像を描く努力を続けています。これらの事例から、ジェンダーの現代的視点を学べる一冊です。

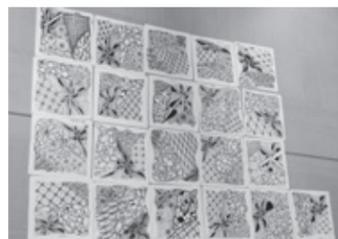
パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。2018年12月までの主な事業をご紹介します。



平成30年11月2日(金)
スクタリウともこ
女性の多様な生き方

小さい子供がいても起業できることを体験をもとに話されました。育児と仕事のバランス、起業時の準備や確認事項、フェイスブックを利用した集客効果も参考になったと思います。小さい子供がいることを強みと感じるポジティブな姿勢が皆に響いたようです。



平成30年12月1日(土)
ペンで個性をひきだす
ゼンタングル®・レッスン

家事・育児・仕事・介護で忙しい日々だけ自分の時間も！に伝える「ほっとひと息、てしごとカフェ」講座。初めて経験される方も多しなか、先生の明快な説明の後、シンプルなパターンを描くことで自然と集中・リラックスして個性溢れる作品を仕上げました。



平成30年12月6日(木)
一歩、一歩、ありがとう
妻・田部井淳子と歩いた道

女性だけの登山隊を組み、女性で世界初エベレスト登頂を果たした故・田部井淳子さん。夫の政伸さんを招いての講演会でした。お二人で東北の震災被災者支援や高校生の富士登山活動をされてきました。互いを尊重し支え合った生活についてお話して頂きました。

News!

お茶の水女子大学 トランスジェンダーの学生受け入れに向けて

お茶の水女子大学では、トランスジェンダー（以下TG*）の受け入れについて2016年から検討を始めました。翌年7月に本格的にワーキンググループを設置し、他大での取り組みや日本学術会議法学会委員会の答申等を参考にして検討をすすめ、学生を含めた関係者との意見交換会等を経て、最終的に昨年6月の役員会で受け入れを決定しました。新入生の受け入れは2020年度から、編入生は2022年度から受け付けることとなっています。

受け入れ方法としては、出願期間前に、戸籍上男性であって性自認が女性の方からの事前申出を受け付け、自身の性別違和や性自認についての経緯を説明する文書（自己申告書）と、性自認を確認する書類（医師の診断書や

*トランスジェンダーとは、生まれた時の性別と、自分で認識している性別が異なる人のこと

高校の教員や保護者による書面など）があれば提出してもらい、これらによって出願資格を確認する予定です。

在籍学生への説明会ではTGの受け入れに反対する声はなく、学生生活の面での配慮について要望があり、引き続き学内ではジェンダーに関する講義やオリエンテーション等を通じて、より多くの学生に理解を深めてもらいたいと考えています。

すでに国内企業でも「LGBTフレンドリー」を掲げており、本学の決定が今後、社会のさまざまな分野で性的マイノリティの方々への差別解消に向けた施策や取り組みのきっかけの一つとなればと願っています。

（情報提供：お茶の水女子大学）

ステキに男女平等参画!

「男性の地域活動」編

in 西東京

元気な人をもっと増やしていきたい

保谷小学校PTA会長 河原 勇人 さん（西東京市在住）



30年度から保谷小のPTA会長を務めています。現役のトライアスリートだった3年前までは遠征等で忙しく、自分の子どもにすらほとんど関わっていませんでした。現在はフリーのトレーナーとして活動していて現役時代よりは時間に融通がきくので、子どもたちとふれあう機会がふえました。次第に自分の子どものことだけでなく、学校全般について知りたくなり、何か協力できることがあればPTAの役員になったのです。



役員になってから知り得たことはたくさんあります。たとえば運動会一つとってみても、前日の準備を含め裏方から見られることで新発見や再確認できたこともありました。また、校舎の耐

震化や体育館へのエアコン設置といった学校営繕にも携わることができ、これら学校運営に関する一連の流れの中に参加するのが今や楽しみになっています。

活動としては月1回の代表者委員会のほかに、自転車教室やウィンターコンサート、全校あいさつ運動、西東京市歩け歩け会など、地域の青少年育成会等が催すイベントにも協力しています。仕事を抱えながらこうした活動をこなしていくというのは大変ですが、楽しいから苦と感じたことはありません。

「日本を元気に！」が座右の銘です。これまで選手として活躍してきた分、これからは、いくつになっても目標や夢を追い続けられる元気な人をもっと増やしていきたい。もっと色んなイベントに関わり地域にも貢献していきたいですね。